



図書館だより 11月号

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地 (電話) 0596-29-3900 (FAX) 0596-29-3902

小俣図書館 図書館行事 ご案内!

おはなし会 1階・おはなしのへや



★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

11月10日(土) たんぼほおはなし会、午後3時～  
11月18日(日) ピッポの会・紙芝居、午前11時～

11月8日(木) 午前11時～



ボランティアおはなし会★図書館まつり★

1階・おはなしのへや

11月24日(土) たんぼほおはなし会、午前11時～  
11月25日(日) ピッポの会・紙芝居、午前11時～

◆上映会 2階・視聴覚室

11月17日(土) 午後2時～

「世界名作アニメ ピノキオ」



《アニメーション 約88分》

ボランティアによる楽しいおはなし会です。  
絵本や紙芝居など☆ぜひ きてください!!



※おはなし会、上映会の事前申込みは不要です。

☆読書感想画展☆

日時: 11月10日(土)～12月2日(日)

場所: 2階・ギャラリー

夏休みにみなさんから募集した  
読書感想画を展示します。

クリスマスツリーを飾ろう

小俣図書館のクリスマスツリーに  
みんなで飾り付けをします。

日時: 11月24日(土) 午後2時～  
場所: 1階・おはなしのへや



読書週間関連行事

トビラを開く ～閉架書庫のヒミツ～

書庫にしまっておいた資料を「お蔵入り資料」という  
テーマコーナーで1階カウンター前に設置します。

期間: 11月10日(土)～12月13日(木)

みんなで絵本を作ろう! 企画第5弾!!

『いちごちゃんとおまのいえへいく』挿し絵募集  
としょかんようせいのいちごちゃんとおまのいえへいくがみんなの  
おうちに遊びに行くというストーリーです。

みんなが、いちごちゃんとおまのいえへいくとおうちで一緒にしたい  
ことや遊びを絵に描いてください。  
※用紙は小俣図書館で配布します。



描いてもらった  
絵は後日図書館で  
ストーリーをつけ  
一冊の絵本に  
します!

用紙配布期間: 11月1日(木)～30日(金)

申込み: 直接カウンターまで

★描いた絵は12月28日(金)までに小俣図書館  
カウンターへ持ってきてください。

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー

11月

12月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3							1
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					

※12/29(土)～1/4(金)まで年末年始のため休館です。

◆図書館まつり◆11月23日(金・祝)～25日(日)開催 ※詳しくは、チラシ・ポスターをご覧ください。

図書館だより 11月号

(編集・発行) 伊勢市立伊勢図書館 指定管理者/株式会社 図書館流通センター (住所) 〒516-0076 伊勢市八日市場町13-35  
(電話) 0596-21-0077 (FAX) 0596-21-0078 (ホームページ) http://iselib.city.ise.mie.jp/



「おはなし会」

《日時》毎週土曜日 午後2時30分～

《場所》1階・おはなしコーナー

11月3日・10日・17日・24日

／おはなしブーさん による おはなし会

えほんのよみかかせ、  
かみしばいなどを  
やっています☆



「あかちゃんえほんのじかん」

《日時》11月22日(木) 午前11時～

《場所》2階・視聴覚室

《内容》あかちゃんむけの絵本の紹介や、  
手あそびなどをします♪

あかちゃんえほん  
のじかんは、毎月  
第4木曜日です★

こんにちは、

いせAちゃんです。

今月は、新図書館20周年記念

図書館まつりがあります。わたしは、

図書館開館1周年行事のなかで、市民の皆

さんに応募していただいた作品の中から、

伊勢図書館のイメージキャラクターに選ば  
れました!

今年は、様々な催しを用意してお待ちして  
おります。申込みが必要なものもあります  
ので気をつけて下さいね!

また、今月号から橋本紡さんの小説、

『図書館が、ここに。』が

連載されます。

お楽しみに～♪



「施設抽選会 (平成25年1月～3月分)」

《日時》11月2日(金) 午前10時～

(受付は午前9時50分～)

《場所》2階・視聴覚室

※ 毎月の上映会は、  
図書館まつりの一環で、  
第3日曜日の11月18日  
(日)に上映します。

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 毎週水曜・第2金曜・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

伊勢図書館・休館日カレンダー

11月

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

伊勢市立伊勢図書館  
新図書館開館20周年記念図書館まつり

11月10日(土)  
～12月2日(日)

平成4年10月1日、岡本から八日市場町に伊勢図  
書館が移転し、開館しました。今年はその20周年  
を記念して、図書館まつりでは様々な催しを用意し  
ております。ぜひご参加ください。

\*詳しくはポスターや、カウンターで  
配布のチラシをご覧ください。



# 本のごあんない



## 〔一般書〕 ～紅に燃ゆ～

朱・赤・燈・黄・・・  
木々がお互いに競い合うように一斉に色づき、色彩交響曲が奏でられる。山々が錦のように染め上げられ見事な景観を作る。ある時一斉に真紅の葉は、樹から離れて大地を覆う。変わりゆく色彩に四季の移ろいを感じ、散りゆく美しさに心奪われる。「春の桜、秋の紅葉」は古の時代から日本人の美意識の象徴である。



- ◎ 日本紅葉の名所100選 (主婦の友社/編 主婦の友社)
- ◎ 京都電車で行く 紅葉の散策 (中田昭/写真 光村推古書院)

## 〔児童書〕



空気がひんやりと感じられる日も多く、すっかり秋本番ですね。秋といえば、皆さんは何をしてみたいですか？  
本を通して興味を広げてもらえるように、「あきの○○の秋」の本を集めてみました。

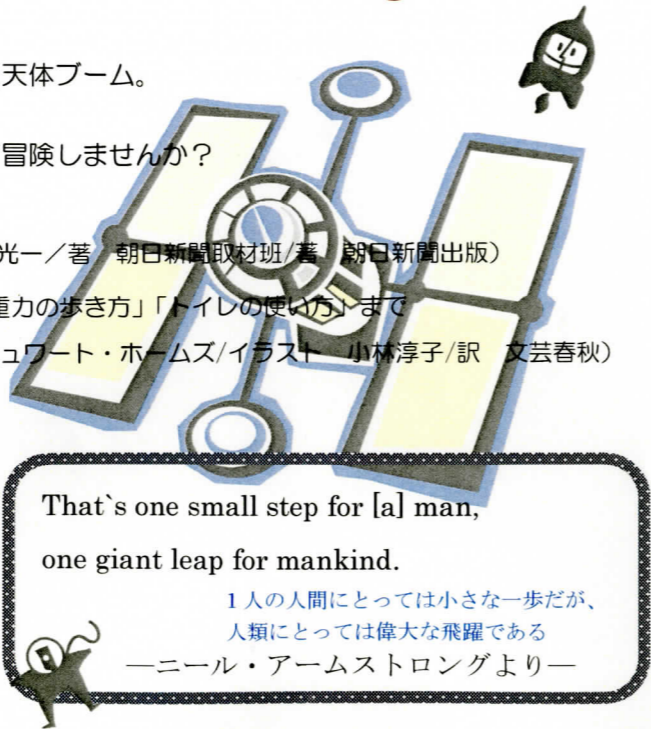
- ★ **こんにちが美術①&②**(福永信/文と構成 岩波書店) **芸術はバクハツだっ！？野菜も古着も片方の眉毛しかない自分だってアート！**
- ★ **楽しい！どんぐりまつほくい落ち葉の工作BOOK**(おさだのび子/著 ナツメ社)
- ★ **まんぷくでえす**(長谷川義史/さく・え PHP研究所) **食欲の秋は食べ過ぎ注意！**
- ★ **スポーツなんでもくらべる図鑑①～③** (大熊広明/監修 ベースボールマガジン社)
- ★ **斎藤孝のイッキによめる！名作選 小学1～6** (斎藤孝/編 講談社) **読書は旅。本を読むと世界が広がりますよ！**

## 〔ヤングアダルト〕 「宇宙に行こう！」

5月に金環日食、6月には金星が太陽面を通過するなどまさに天体ブーム。  
今年は、空を見上げる機会も多かったのではないのでしょうか。  
一般の人でも宇宙に行ける時代です。そんな宇宙を本の世界で冒険しませんか？

- **宇宙で過ごした137日 僕の「きぼう」滞在記** (若田光一/著 朝日新聞取材班/著 朝日新聞出版)
- **宇宙旅行ハンドブック 「予算」「コースの選び方」から「無重力の歩き方」「トイレの使い方」まで**  
(エリック・アンダーソン/著 ジョシュア・ピヴェン/共著 スチュワート・ホームズ/イラスト 小林淳子/訳 文芸春秋)
- **ぼくが宇宙人をさがす理由** (鳴沢真也/著 旬報社)

- **宇宙においてよ！**  
(野口聡一/著 林公代/文 植田智成/イラスト 講談社)
- **宇宙に果てはあるの？** (池内了/監修 かがわ出版)



★ 伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。

時、秋にして積雨霽(晴)れ…(中略)燈火稍く親しむ可く簡編、巻舒す可し。…  
— 韓愈「符読書城南」—

秋の夜の燈火の下、自ら静かな思いを誘い書物を広げる。  
ゆったりと充実した時間の流れる中、深まる秋を想う。

## ふるさとの風 ～霜月～

# 文庫礼讃

— 神都の図書館 Fumikura から Library へ —

図書館は人間の長い歴史と共に常に知的な創造の場、空間でありつづけたといえる。

日本で「図書館」の名称が使われたのは明治に入ってからである。それまでは「文庫」がその役割を果たしてきた。

神都伊勢において文庫の沿革は神宮における文書収蔵の歴史そのものと重なる。古来両宮域内には文殿や神庫と呼ばれる記録文書を収めるための施設が置かれ、祠官たちの研究や検索の用に供されていた。しかしこれらの「文殿」や「神庫」は広く一般に公開されたものではなかったのである。

豊宮崎文庫は慶安元年(1648)外宮の東隣宮崎の地(現在の岡本3丁目)に外宮祠官出口延佳らの提唱に同志70人が賛同、出資して創設された。

文庫設立の目的について延佳は自署「伊勢太神宮神異記」の中で次のように述べている。  
「太神宮の御為、神書、古記、和漢乃書籍をあつめ、万代に残し且は所の人にも学問をすすめんがためなり」  
延佳らは外宮祠官や子弟等、志学の者が利用でき学問所にもなる文庫の設立を図ったのである。  
文庫設立の熱意に込めて多くの学者文人から書籍の献納が相次ぎ蔵書は充実したものになっていった。  
又、多くの碩学の学者たちも文庫を訪れ学問所としての文庫のために教壇に立ったり講演会が行われていた。  
その中には貝原益軒、室鳩巢、伊藤東涯、大塩平八郎などの名前があったという。

豊宮崎文庫より遅れることおよそ40年貞享3年(1686)宇治会合年寄らが内宮に文庫を設立する計画を立てた。時の山田奉行岡部駿河守勝重の支援を受け翌年には丸山の地に「内宮文庫」を設立したが、土地が高湿で図書保管に不適切なため、元禄3年(1690)に隣接する林崎に移転。「林崎文庫」と改称された。  
しかし百年も経たないうちに荒廃の一途をたどってしまう。その再興に献身したのが内宮権禰宜蓬萊(荒木田)久賢であった。彼は谷川士清の娘婿であり古くから親交のあった本居宣長も援助を惜しまなかったという。  
宣長が著した「林崎のふみくらの詞」…石碑に刻せられたその文章からは今も尚林崎文庫の往時を偲ぶことができる。

豊宮崎と林崎の両文庫は図書館であるとともに神職子弟の教育の機関であった。  
さらには碩学大儒との交流を通じて発展し、神都伊勢と京都、大阪、江戸などの文化的先進地を結ぶ役割を果たしてきた。

御幸道路から黒門(御師福島御塩焼太夫邸門)をくぐり石畳の坂道をのぼると大正口マン漂う和洋折衷の建造物が姿をみせる。神道学最大の宝庫として知られる神宮文庫である。  
明治4年(1871)の神宮の組織制度改正にともない豊宮崎と林崎の両文庫をはじめ文殿、神庫等の蔵書を合わせて新設。  
明治40年(1907)内宮近くに書庫及び閲覧室が建てられ蔵書数は5万冊に及んだ。  
その後大正14年(1926)に現在の地倉田山に移転している。

文庫から図書館へという呼称の変化は書物の専有から共有へという流れを背景にしている。  
図書館は時代の変化に合わせて自ら変革して進化していかななくてはならない。しかし書物が古くから受け継がれてきた歴史も大切である。過去、現在、未来の人々と書物を共有する事も図書館の使命ではないだろうか。

平成4年10月秋晴れ…、抜けるような青空のもと新図書館が開館しました。  
豊宮崎文庫跡に隣接した旧図書館から移転し今年で20周年、  
先人たちの知識の宝庫は時空を超え、この地で今も生きつづけています。

- ➡ 伊勢市史 第7巻 文化財編 (伊勢市/編 伊勢市 L243/1/7)
- ➡ 神宮文庫の歩み 神宮文庫開庫百周年記念誌 (神宮文庫/編 神宮文庫 L018/ジ)